



令和4年3月30日

国際物理オリンピック 2022・ベラルーシ大会への参加取り止めについて

公益社団法人 物理オリンピック日本委員会

当委員会は、2006年以來、毎年7月に開催される国際物理オリンピック (International Physics Olympiad, IPhO) に日本代表選手団を派遣して参りました。今年もその準備を進め、IPhOに派遣する日本代表選手5名を先日決定いたしました。しかし、今年のIPhOには日本代表選手団を派遣することを取り止めることにしました。

今年のIPhOは、ベラルーシ共和国が開催国となってオンライン形式で実施することが決まっています。しかし、ベラルーシは、現在も続いているロシアによるウクライナ侵攻に強く関わっています。そのような状況のなかでのIPhOに、オンライン形式とはいえ日本の中高生を参加させることは適当でないと判断しました。なぜなら、IPhOは、ウクライナを含め全世界から等しくそれぞれの国を代表する選手たちが参加して物理の能力を競い交流する自由で開かれた国際大会であるはずですが、今年のIPhOベラルーシ大会ではその前提が損なわれているからです。

国内予選から始まって1年以上にわたってプレッシャーのもとで準備勉強・研修を続けてきた日本代表選手の皆さんには、このような事態になってしまい大変申し訳なく思っています。しかし、いままでの努力は無駄ではなく、日本代表選手に選抜されたことに誇りをもってさらに勉学に励んで欲しいと思います。また、今年5月に開催されるインド共和国主催のアジア物理オリンピック(オンライン形式)には日本代表選手団として参加する予定ですので、そこでいかに培ってきた実力を発揮することを期待します。

また、当委員会としてこのような苦渋の決断をせざるを得ないことになりましたが、今後、IPhO本部と協力して各国代表選手たちが活躍できる機会を作る活動に積極的に関わっていきたいと考えていますので、関係者の皆様には事情ご賢察のうえ何卒ご理解を賜りたいと思います。

以上